

さくらさくPLUS

2024年7月期
投資家向け説明会資料

2024年7月13日

証券コード
7097



contents

- ▶ **会社概要・沿革** **P.2**
- ▶ 2024年7月期 第3四半期決算 P.12
- ▶ 2024年7月期 事業活動 P.18
- ▶ Appendix P.28



会社概要

会社名 株式会社さくらさくプラス

設立 2017年8月

上場 2020年10月（東証グロース）

マネジメント 代表取締役社長 西尾 義隆（写真中）
取締役副社長 中山 隆志（写真右）
取締役専務 森田 周平（写真左）

所在地 東京都千代田区有楽町1丁目2番2号 東宝日比谷ビル

資本金 580,406,430円（2023年7月末）

従業員数 2,119人（2023年7月末）

事業内容 子ども・子育て支援事業

株式会社さくらさくみらい（100%子会社）

株式会社さくらさくパワーズ（100%子会社）
宅地建物取引業者 東京都知事（1）第103379号

株式会社あかるいみらいアセット（持分法適用関連会社）

関連子会社 Hana TED.,JSC（ベトナム：持分法適用関連会社）

株式会社みらいパレット(80%子会社)

株式会社V A M O S(100%子会社)

株式会社みんなのみらい（95%子会社）

株式会社保育のデザイン研究所（100%子会社）



子どもは、社会の未来。
子育て家庭は、この国の伸びしろ。
私たちは様々な子育て支援を通じて、
この国の成長にコミットします。

日本の伸びしろを、
花ひらかせる。

さくらさくPLUS

会社沿革

- 2009年5月、事業譲渡により「りよちさくさくほいくえん」（認可外保育施設）を個人事業として開設・創業
- 2017年の株式移転により、株式会社ブロッサムを完全親会社として「さくさくプラス」を設立

2009年

株式会社ブロッサム（現「株式会社さくさくみらい」）設立

2010年

現小規模保育施設

「わこうさくさくほいくえん」（現「さくさくみらい和光」）開設

2011年

初の認証保育所

「つきしまさくさくほいくえん」（現「さくさくみらい月島」）開設

2014年

初の認可保育所

「もとまちさくさくほいくえん」（現「さくさくみらい元町」）

初の認可保育所

「ぜんげんじさくさくほいくえん」（現「さくさくみらい善源寺」）同時開設

2017年

株式移転により株式会社さくさくプラスを設立
株式会社ブロッサム（現「株式会社さくさくみらい」）を完全子会社化



2018年

株式会社さくさくパワーズ設立 宅地建物取引業者 東京都知事免許(1)103379号



2019年

社名を株式会社ブロッサムから株式会社さくさくみらいに変更
株式会社あかるいみらいアセット設立
Hana TED.,JSC設立（ベトナム）



2020年

東証マザーズ（現 東証グロース）上場

2021年

株式会社みらいパレット を設立
株式会社VAMOSを子会社化
株式会社みんなのみらいを設立



2023年

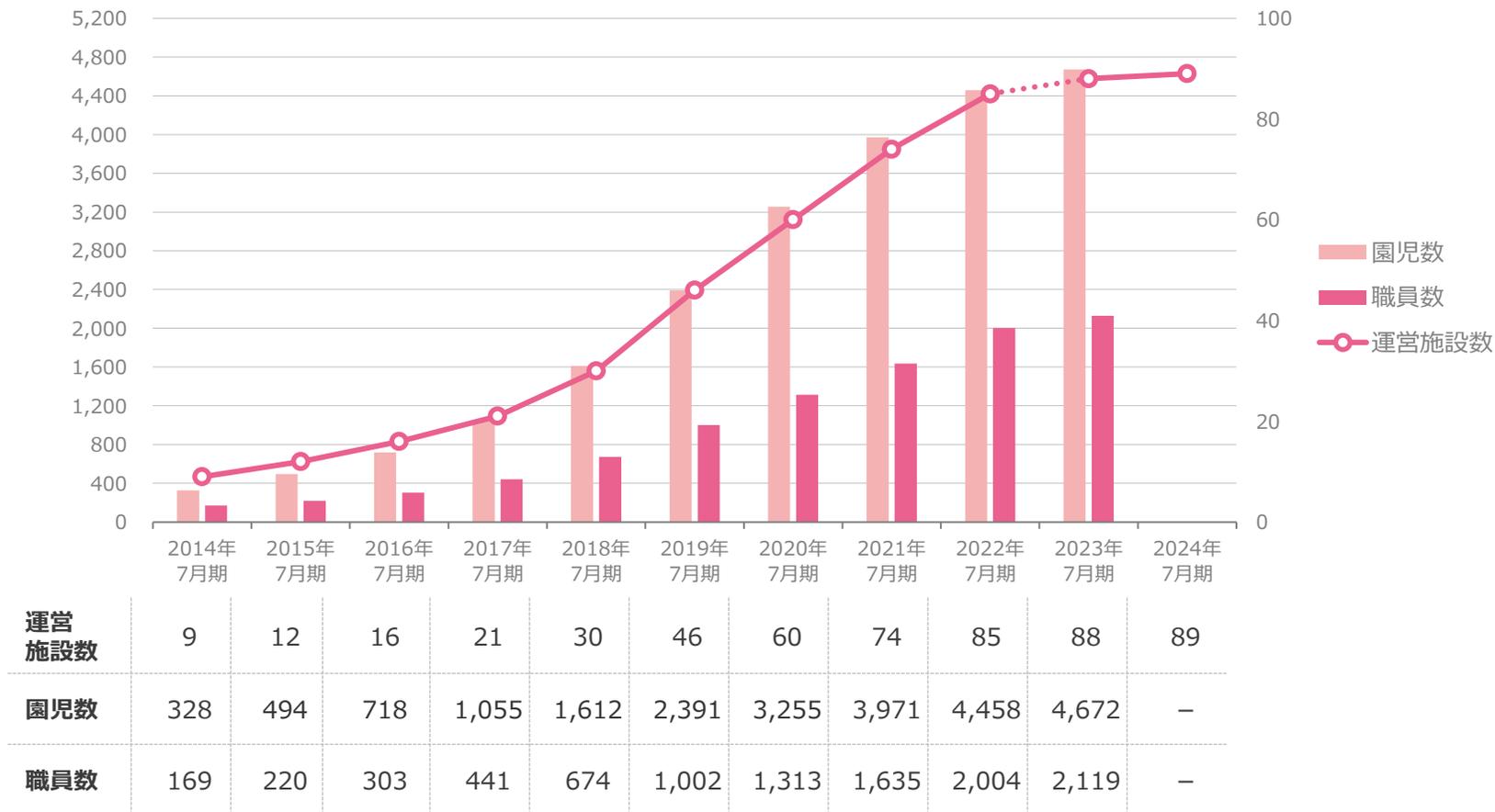
株式会社保育のデザイン研究所を子会社化



当社の特徴 ～事業実績～

さくさくプラスはこれまで、深刻な待機児童問題にスピード感をもって取り組んできました。

さくさくプラスは2000年代以降、社会的に大きな課題であった「待機児童問題」に取り組んできました。特に深刻な東京に集中して、約10年間で90か所以上の良質な保育施設を開設運営。社会課題の解決に実効性のある事業をスピード感をもって拡大してきました。



*当社は2017年8月1日に単独株式移転により㈱ Blossam（現 ㈱さくさくみらい）の完全親会社として設立しており、17/7期までは株式会社移転完全子会社である㈱ Blossam（現 ㈱さくさくみらい）の業績を記載しております。
*職員数は派遣社員を含む期末在籍者数を記載しております。

グループの事業ポートフォリオ

当社（純粋持株会社）

さくらさくPLUS

1. グループ中核事業

保育サービス

株式会社さくらさくみらい
(連結子会社)



3. 中核事業のノウハウ活用

情報資産サービス

株式会社みらいパレット
(連結子会社)



研修サービス

株式会社保育のデザイン研究所
(連結子会社)



2. 基盤能力の活用

不動産 企画・開発

株式会社さくらさくパワーズ
(連結子会社)

さくらさくパワーズ
SAKURASAKU POWERS

株式会社あかるいみらいアセット
(持分法適用関連会社)



4. 事業領域の拡大



子育てしやすい
社会を目指して
さらなる事業拡大

進学塾運営

株式会社 VAMOS
(連結子会社)



食育サービス

株式会社みんなのみらい
(連結子会社)



共働き家庭が、増え続けています。

女性だけでなく、男性の働き方も、多様になってきています。

一人ひとりが、それぞれ違うカタチで幸せを描き、

新しいキャリアを形づくっていく時代。

子育てに必要なこともまた、新しくなっていくでしょう。

子どもは、社会の未来。子育て家族は、この国の伸びしろ。

子育て家族が元気になるほど、日本の未来が嬉しい方へ変わっていくと、

私たちは信じています。

子どもが成長していく喜びを、

本人はもちろん、親と、保育者と教育者と、地域の人々など、

あらゆるステークホルダーが笑顔の中で分かち合っていけるように。

なるほど、その手があったか！ え、そこまで出来るの!?

私たちは、これからの時代を生きる子育て家族に、

嬉しいイノベーションを届けていきます。

日本の伸びしろを、花ひらかせる。 さくらさくPLUS





さくらさく PLUS
日本の伸びしろを、花ひらかせる。

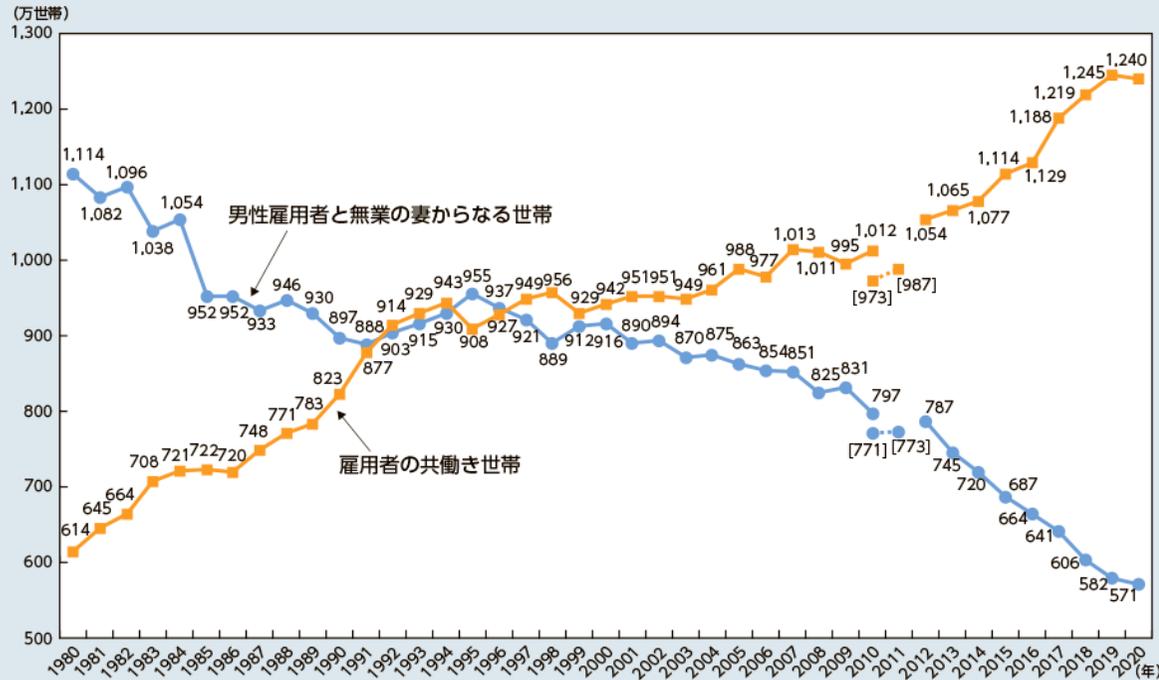
新ロゴマークに込めた思い

新ロゴマークでは、共働き家族、子育て家族の皆様のための事業やサービスを今後も開発し続けていくという当社グループの意思と、そこに様々なステークホルダーが集い、笑顔が広がっていくイメージを、満開の桜の木をモチーフに表現しました。

これからも、日本の“伸びしろ”である共働き家族、子育て家族の皆様が、安心して過ごせる社会にしていくために志を同じくする企業や団体の皆様とも連携しながら必要な取り組みを推し進めてまいります。

さくらさくプラスは、増え続ける共働き世代のための嬉しいサービスを提供する企業です。

図表 1-1-3 共働き等世帯数の年次推移



資料：1980～2001年は総務省統計局「労働力調査特別調査」、2002年以降は総務省統計局「労働力調査（詳細集計）（年平均）」
 (注) 1. 「男性雇用者と無業の妻からなる世帯」とは、2017年までは、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業者（非労働力人口及び完全失業者）の世帯。2018年以降は、就業状態の分類区分の変更に伴い、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業者（非労働力人口及び失業者）の世帯。
 2. 「雇用の共働き世帯」とは、夫婦ともに非農林業雇用者の世帯。
 3. 2010年及び2011年の[]内の実数は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。
 4. 「労働力調査特別調査」と「労働力調査（詳細集計）」とでは、調査方法、調査月などが相違することから、時系列比較には注意を要する。

共働き世帯は日本において40年以上増え続けています。

また政府は男女共同参画を推進し、男女の仕事・家庭への参加や、多様な働き方・キャリアを支援しています。

その増え続ける共働き世帯が時代ごとに直面する課題は今後も増え続けると考えられます。

私たちさくらさくプラスは、社会全体の課題である共働き世帯が抱える悩み・課題の解決支援に取り組む企業です。



男女がともに活躍できる社会へ



内閣府
男女共同
参画局



「場」の提供から

深刻な待機児童問題のあった日本（東京）において不動産ノウハウを活かして、「場」の課題解決に注力し、成長してきました。

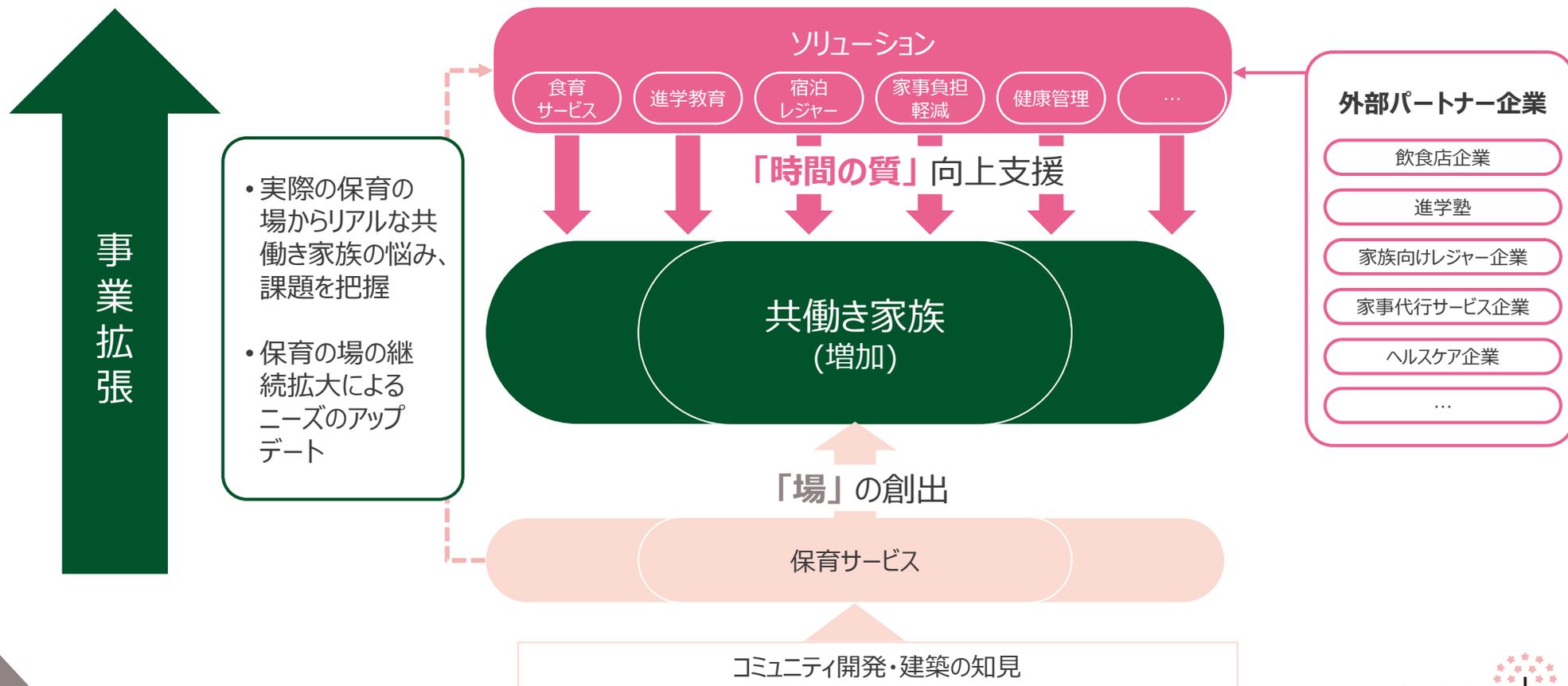


「時間」の提供へ

コロナ以降の働き方の変化で、課題が多様化している時代になりました。保育の現場で得た知見を活かして、「時間」の課題解決にも取り組んでいきます。

共働き家族のための「場」の提供に加え、「時間の質」を向上するソリューションプラットフォームへ。

これまでの、保育の「場」を生み出すことでの課題解決に加え、保育の現場から得られる様々な知見、課題をもとに、共働き家族の皆様の「時間」の悩みを解決する、多様なソリューションを提供する事業へ拡張していきます。



contents

- ▶ 会社概要・沿革 P. 2
- ▶ **2024年7月期 第3四半期決算 P.12**
- ▶ 2024年7月期 事業活動 P.18
- ▶ Appendix P.28



2024年7月期 第3四半期決算概要

(百万円)	2024年7月期 3Q実績 (A)	2023年7月期 3Q実績 (B)	前年同期比	
			増減 (A) - (B)	増減率 (%)
売上高	11,271	10,255	1,016	9.9%
営業利益	405	163	241	147.1%
経常利益	518	411	106	25.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	408	216	192	88.9%

売上高

公定価格の増額を背景とした保育補助金の増額及び保育所新規開設（1施設）に伴う園児数増加並びに既存保育所の在籍率の向上等による保育サービスの増収等があったことに加え、その他サービスの収益が概ね見込み通り積み上がったことが寄与し、前年同期比9.9%の増収

営業利益

堅調な増収に加え、ICT化による業務効率化をはじめとした各種のコスト削減施策が功を奏し、前年同期比大幅な増益

経常利益

保育所の新規開設が前年同期3施設に対して当四半期累計期間1施設と減少していることに伴い補助金収入（営業外収益）が減少しているものの、営業増益の影響が上回り、経常利益は前年同期比25.8%増益

親会社株主に帰属する 四半期純利益

各段階損益の増益に加え、前年同期に計上した特別損失（災害損失引当金繰入額）が当四半期累計期間に発生していないことなどから、大幅増益

2024年7月期 通期予算に対する進捗

(百万円)	2024年7月期 3Q実績 (A)	2024年7月期 通期予算 (B)	通期予想 進捗率 (%)
売上高	11,271	17,100	65.9%
営業利益	405	580	69.8%
経常利益	518	650	79.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	408	500	81.7%

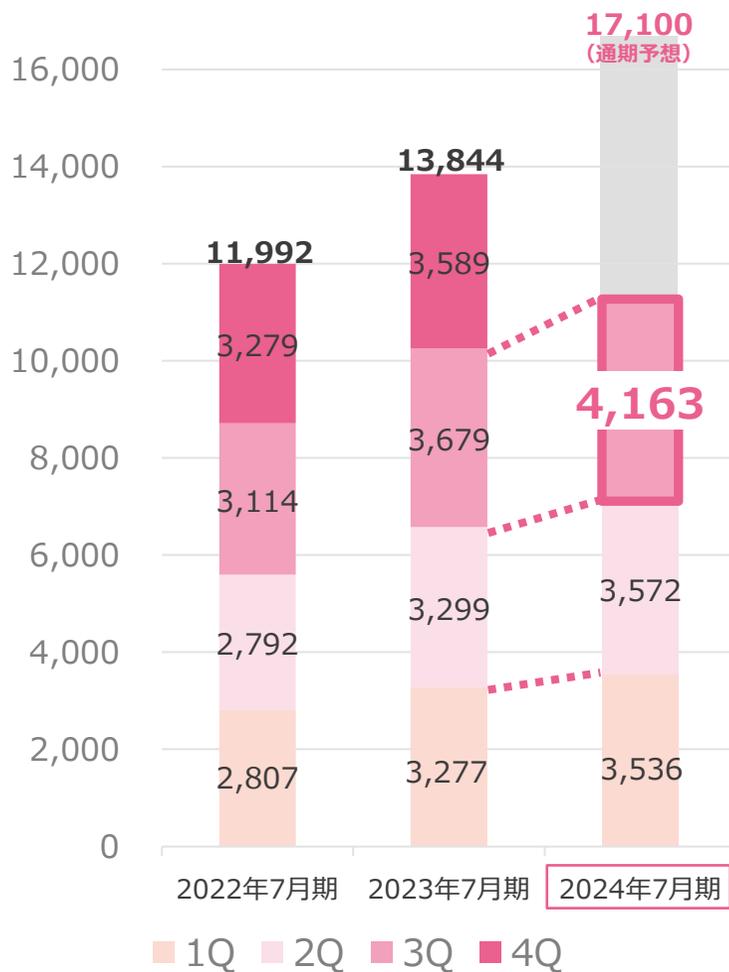
進捗状況

売買契約を締結した販売用不動産の引渡し（収益計上）を第4四半期に予定しており、加えて業務効率化等のコスト削減施策の効果が想定を上回って推移しているため、進捗は順調である。経常利益以下の段階損益については、営業外収益に計上される保育施設開設に係る「補助金収入」が計画通り当第3四半期に計上されたことなどから、8割前後の進捗率となった。

四半期別 売上高ならびに営業利益

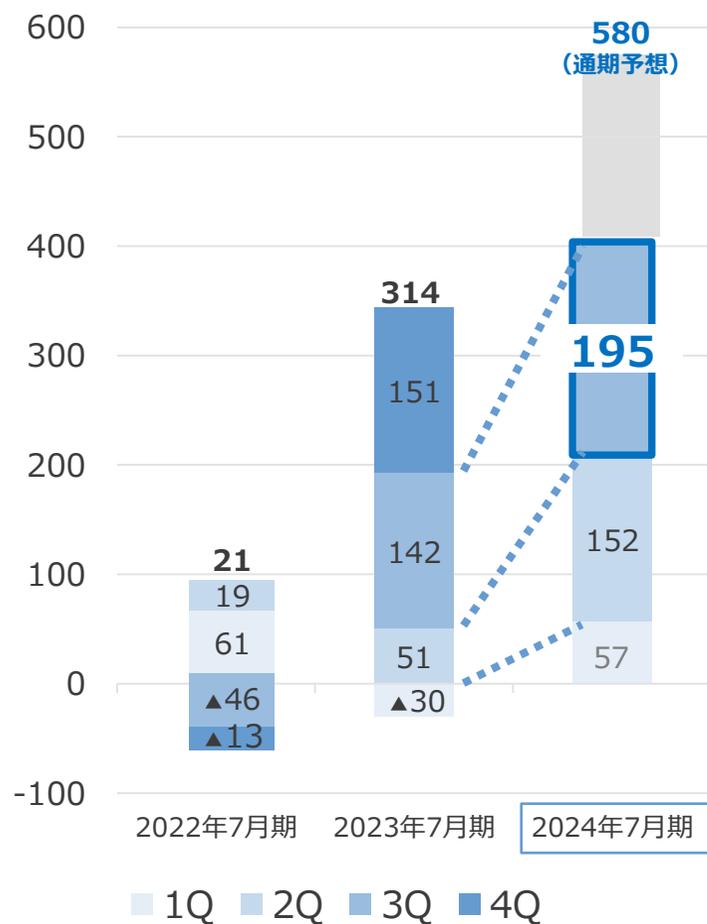
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



2024年7月期 第3四半期貸借対照表

- 資産の部では、主に増収に伴う未収入金の増加9.0億円、保育所新規開設や収益不動産への投資に伴う有形固定資産の増加4.3億円等があり、資産合計が18.0億円増加
- 負債の部では、主に不動産投資のための資金調達に伴い、負債合計が16.5億円増加

(百万円)	2023年7月期実績	2024年7月期3Q実績	前期末比
資産の部			
流動資産	4,022	5,319	1,297
現金及び預金	752	1,079	327
仕掛販売用不動産	1,482	1,673	191
未収入金	1,328	2,230	902
その他	459	335	▲123
固定資産	10,465	10,972	506
有形固定資産	9,202	9,641	438
無形固定資産	375	371	▲4
投資その他の資産	886	959	72
資産合計	14,488	16,292	1,803
負債の部			
流動負債	3,325	4,401	1,075
短期借入金	1,440	2,064	624
1年内返済予定の長期借入金	505	465	▲40
その他	1,378	1,871	492
固定負債	6,219	6,801	581
長期借入金	3,639	4,089	450
その他	2,580	2,712	131
負債合計	9,545	11,203	1,657
純資産の部			
純資産合計	4,942	5,089	146
負債・純資産合計	14,488	16,292	1,803

2024年7月期 経営トピックス

New

資本政策

配当金の予想修正（増配）

New

情報資産サービス

在園児保護者限定のコミュニティツール「さくらさくパーク」の本格始動

2024年4月



達成

保育サービス

（中央区）パークタワー勝どきに認可保育所を新規開園



達成

食育サービス

（中央区）月島に「みらいのテーブル」2号店オープン



達成

進学塾運営

（中央区）月島に新校舎を開校



達成

研修サービス

約350講座のオンライン研修 サブスクリプション・サービスをスタート
全国自治体から研修業務を受託

2024年3月



達成

通期予算

2024年7月期通期業績予想の上方修正

2024年2月



達成

不動産企画・開発

（港区）西麻布プロジェクト 売買契約を締結

2024年6月に引渡し予定 引き渡し時に収益影響

2024年1月



達成

資本政策

自己株式取得を実行（3月15日 取得株式総額が上限に達したため終了）

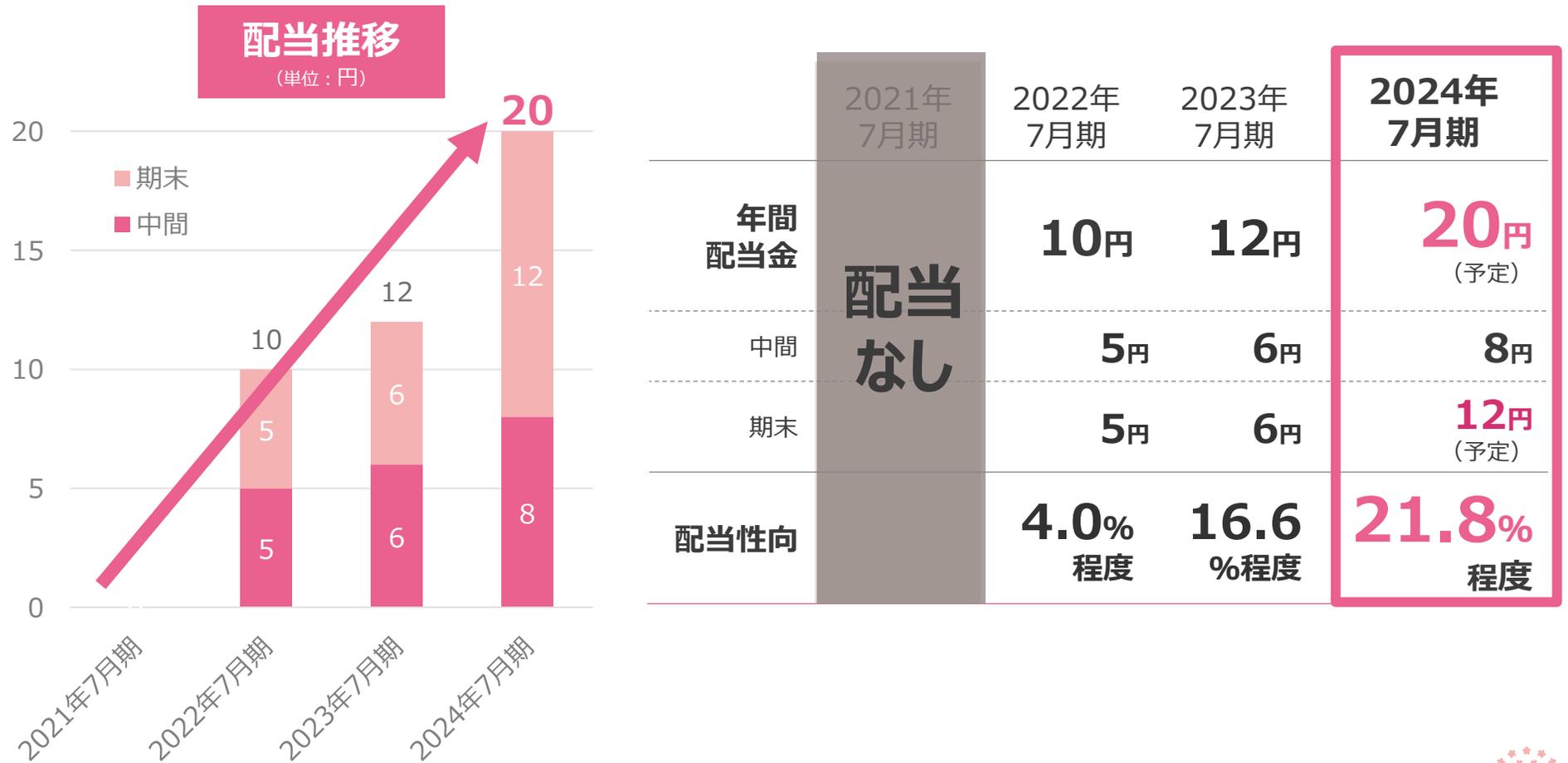
contents

- ▶ 会社概要・沿革 P.2
- ▶ 2024年7月期 第3四半期決算 P.12
- ▶ **2024年7月期 事業活動 P.18**
- ▶ Appendix P.28



2024年7月期は、業績動向を鑑み**期末配当を4円増配**

2024年7月期は、業績動向を鑑みて期初の配当予想から**4円増配し、12円に修正**



株式会社
みらいパレット



テクノロジーと情報で
子育て世帯をサポート

設立年月 2021年4月

- テクノロジーと情報で子育て世帯をサポートするサービスを開発・提供
- 写真販売をサービスとした「さくらさくフォト」の提供

日々成長する子どもたちの様子を「知りたい」「伝えたい」という両軸の想いが叶うサービスを提供し、子どものみならず子育て世帯のサポートを行うことを目指します

「園での日常をもっと知りたい」保護者の気持ちに寄り添うサービス

在園児保護者専用のコミュニティツール「さくらさくパーク」の本格始動

■「さくらさくパーク」とは

在園児保護者専用のコミュニティツールで、楽しく子育てをサポート。写真と共に園の様子を提供し、保護者とのコミュニケーションの向上や写真販売のプロモーションにも活用可能。

■「さくらさくパーク」をはじめとしたICT化による保育所での業務効率化

- 書類の電子化により、保育士の負担軽減
- 保育に必要な情報の一元管理化
- 保育士と保護者間で最新情報をスピーディーに連携可能



株式会社
さくらさくみらい



さくらさくみらいの保育所

愛情をたっぷり注ぎあわてず個性を伸ばす

全体の**92.1%** 東京認可保育所

82施設 / 全 89 施設

全体の**93.9%** 駅チカ保育園

最寄り駅から10分以内の
さくらさくみらいの都内保育所

東京認可保育所
77施設 / 82 施設

子どもたちの成長が花ひらく「よろこびや うれしさをともに」

2024年4月1日 (中央区) 勝どきへ新規開園

■ 東京都中央区へ認可保育所を新規開園 (89施設目)

東京都中央区

東京都中央区は住宅開発等が進み人口が増加傾向にあり、中央区の合計特殊出生率は1.31と、東京都内の値が1.04であるのに比べ、高い数値。今後も保育の需要が高いエリアへより良い子育て環境を提供するべく当エリアを選定。



2024
4月

子育て支援カフェ 中央区月島に2号店オープン

株式会社
みんなの未来



親子が「行きたい！」店舗づくり

心と体の栄養と満足を叶えるパンと親子共に心地よく過ごせる空間

- 美味しいパンの提供とワクワクする店内
▶▶▶ 子どもの「行きたい」
- オシャレな環境でゆったりと食事を楽しめる
▶▶▶ 大人の「行きたい」

親子で楽しめる子育て支援カフェ

2024年4月27日 中央区月島に2号店をオープン

■ 当社グループの運営する保育所のうち 8施設が集中するエリア

2号店（月島）の特徴

当社グループで運営する保育所でも大切にしている“あたたかさ”、木のぬくもりを感じられる店内。
また、お子さまとその保護者様が一緒に楽しめるよう本を設置いたしました。



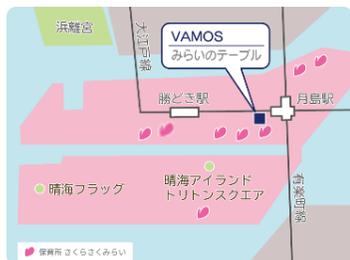
さくらさくPLUS

株式会社
VAMOS



VAMOS 6つのポイント

1. お子さまに寄り添う指導
2. 質の高い講義
3. 学力・個性に合わせたクラス編成
4. 仲間と共に高めあえる環境
5. 最新の受験事情の提供
6. 未来につながる授業



子育て家庭の受験を全力でサポート

2024年4月8日 (中央区) 月島へ5校目となる新校舎を開校

■ 私立中学進学率 東京23区第2位

東京23区では5人に1人が中学受験をするといわれる中でも、中央区における私立中学進学率は、文京区に続く第2位で43%と高水準
月島校は2路線利用可能な月島駅から徒歩1分、江東区豊洲などの臨海エリアの住宅地からの交通の便もよく、月島地区に限らず通塾にも便利



生徒数の増加

	2022年4月	2023年4月	2024年4月
全校舎生徒数 合計	277人	386人	406人

株式会社
保育のデザイン研究所



保育のデザイン研究所

保育のデザイン研究所の強み

- 様々な分野の専門家との強いネットワークを活かした質の高い研修
- 約350講座のオンライン研修をサブスクにて提供し、タイムリーなテーマの講座を手軽に受講可能
- 新人教育からマネジメントまで最先端の情報を幅広く網羅
- 集合研修（対面）やライブ研修は年間200回以上開催の実績
- それぞれの保育施設の状況に応じ内容をカスタマイズ

未来を創る、保育をデザインする

保育・幼児教育へ携わる人へ 質の高い研修を提供し、 日本全国の安心できる場所に



■ サブスクサービス「on-line 研修」を運用開始

- 2024年4月より新LMSを使用したオンライン研修の運用を開始
よりきめ細かな受講者へのサービスを実施
- 2024年3～5月の期間限定でon-line 研修入会キャンペーンを実施、
新規受講契約を獲得

■ 全国の自治体から研修業務を受託

保育士等キャリアアップ研修
業務契約件数

11月～4月 月平均 約**11**件
宮城県、長崎県、鳥取県、東京都大田区等

on-line研修契約件数

(自治体及び法人含む)

11月～4月 月平均 約**480**件

集合研修開催件数

(自治体及び法人含む)

11月～4月 月平均 約**14**件

保育者施設従事者向け研修動画の
制作及び配信業務委託

千代田区

(百万円)	修正後 2024年7月期 通期予算 (A)	修正前 2024年7月期 通期予算 (B)	増減額 (A) - (B)	増減率 (%)
売上高	17,100	16,773	327	1.9%
営業利益	580	445	135	30.3%
経常利益	650	552	98	17.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	500	429	71	16.6%

修正の理由

売上高は、新規開設した施設及び既存施設で積極的な園児の受入れを行った結果、各施設の利用園児数が予想を上回ったこと等により前回予想を約3億2,700万円（1.9%）上回る見通しとなり、営業利益は、売上高の増加に加え、販売用不動産の売却やICT化等の業務効率化によるコスト削減効果が寄与し、前回予想を1億3,500万円（30.3%）上回る見通しとなった。

なお、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても、売上高ならびに営業利益の増加に伴い、それぞれ前回予想を上回る見通しとなった。

株式会社
さくらさくパワーズ

さくらさくパワーズ
SAKURASAKU POWERS

東京こどもすくすく住宅認定制度

居住者の安全性、家事のしやすさなどに配慮された住宅で、子育てがしやすい環境づくりの取り組みを行っている優良な住宅を、東京都が認定する制度

概要・ポイント

- 2023年4月7日創設
- 従来の子育て支援住宅制度よりも、事業者のより幅広い取り組みが対象に（キッズルームなどの共用部も助成対象に）
- 1戸に最大200万円を東京都が助成

子育て支援住宅の開発

2024年2月売買契約を締結 6月引渡し、収益計上は当期末を予定

■ 収益計上は当期末を予定

第一弾

東京都港区西麻布プロジェクト



第二弾

東京こどもすくすく住宅

東京都台東区浅草プロジェクト





自己株式取得

自己株式取得に係る事項を決議（2024年1月9日決議）

※2024年3月15日 取得株式総額が上限に達したため終了

取得株式総額

上限 200,000,000円

取得株式総数

上限 250,000株（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 5.5%）

取得期間

2024年1月10日～2024年4月30日

取得理由

株主還元および資本効率向上と経営環境に応じた機動的な資本政策を遂行するため

進捗状況（最終）

株式数 207,800株（83.1%） 総額 199,900,100円（99.9%）

contents

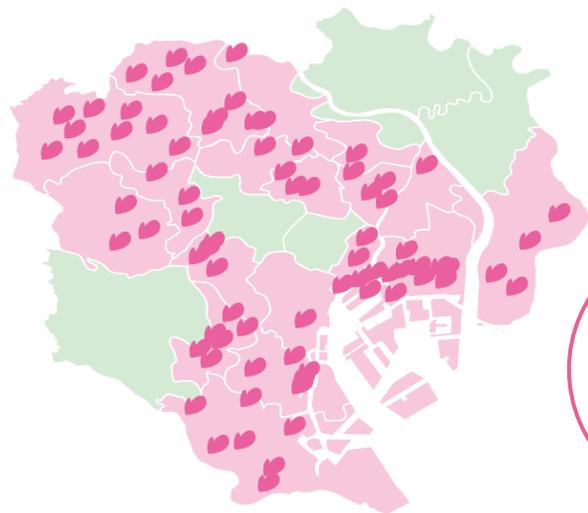
- ▶ 会社概要・沿革 P. 2
- ▶ 2024年7月期 第3四半期決算 P.12
- ▶ 2024年7月期 事業活動 P.18
- ▶ **Appendix** **P.28**



当社の特徴 ～保育サービスの強み～

認可園

東京認可保育所 **82** 施設 / 全 **89** 施設
※ 新規園含む



東京都認可比率
92.1%

(東京都公表)

就学前児童人口に対する
 保育サービスの利用率

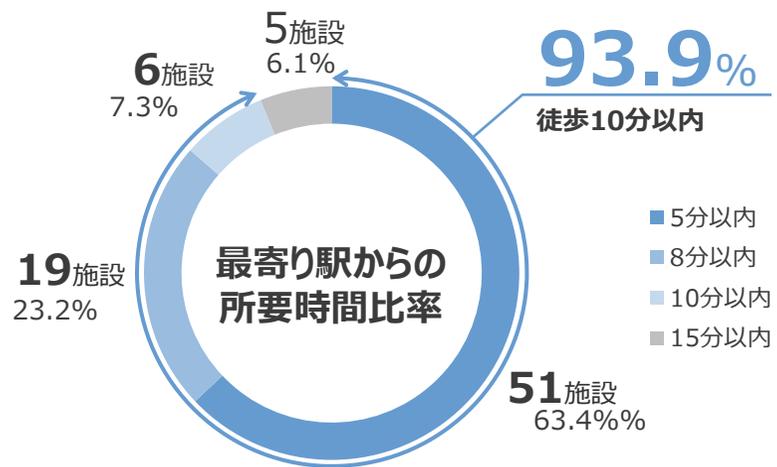
56.8%

利用者全体の
 認可保育所利用率

89.0%

駅チカ

最寄り駅から10分以内の
 さくらさくみらいの都内保育所 **77** 施設 / **82** 施設
東京認可保育所
 ※ 新規園含む
 ※ 分室を除く



前提条件 = 徒歩1分 = 80mとして10分圏内 = 約800m

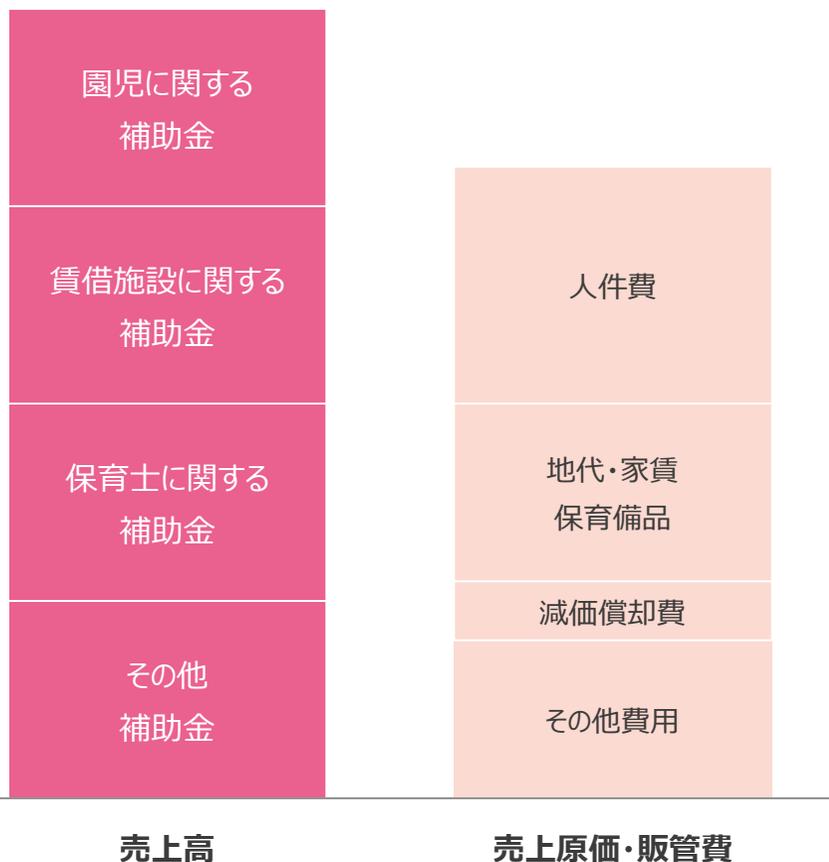
(東京都公表)

小学生までの子どもを養育する
 両親世帯のうち、共働き世帯の割合

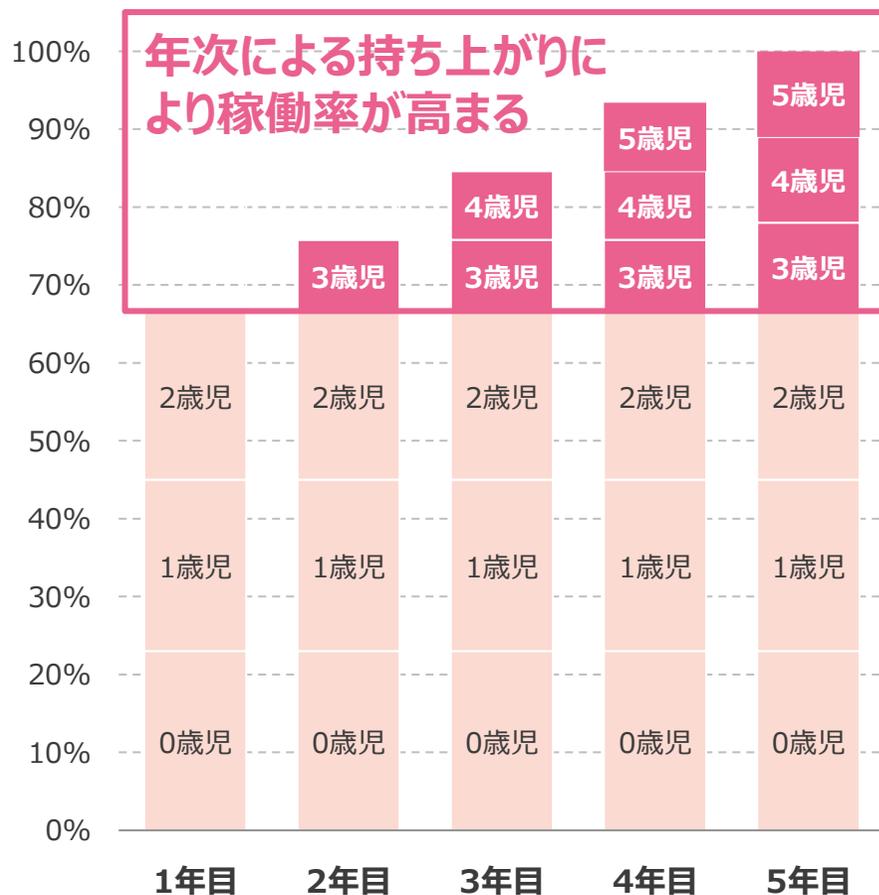
過去最多
6割以上

売上・売上原価の構成と開所から収益最大化までのイメージ

売上高と売上原価・販管費イメージ



保育所1カ所当たり収益イメージ



保育所運営における安全と質の向上への取り組み

安全への取り組み

- ◆ 運営委員会開催
外部アドバイザー・保護者代表・地域担当などが参加し、要望・意見の収集と改善策の提案
- ◆ 園での事故事例について情報共有
- ◆ ご意見箱の設置
- ◆ 「さくらさくパーク」による情報共有
- ◆ 全施設へ防犯カメラを設置

保育マニュアル

- ◆ 日常業務を細かくマニュアル化した保育マニュアル（登園時の対応、食事・午睡・お散歩他、安心・安全な保育に寄与）の整備
- ◆ 虐待の防止に関する指針や苦情対応フローなどを制定し、子どもを守る保育を実践

職員研修

- ◆ 階層により年11時間～56時間実施
実施後はレポートを作成し、研修内容の整理と習熟度の把握
- ◆ 園長・役職者向けプログラムとして職員の園児に対する不適切対応、リスクマネジメント研修も実施

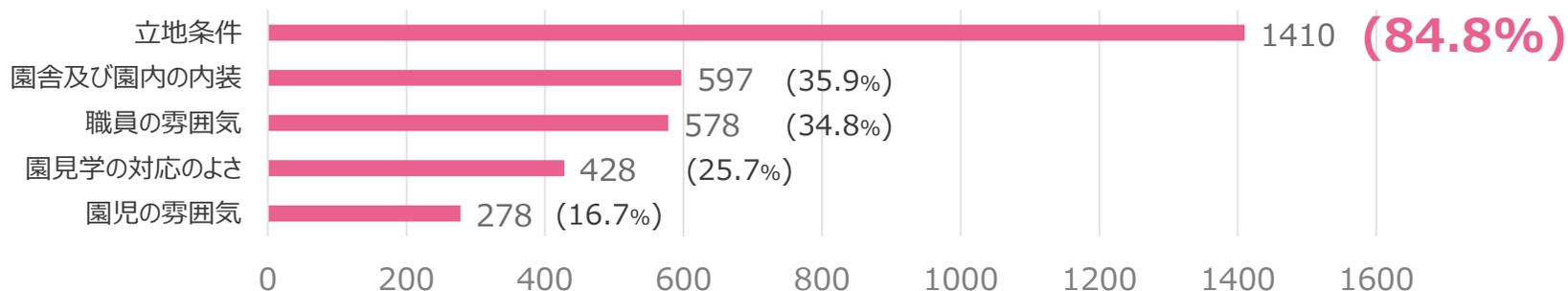
その他

- ◆ 毎月の職員会議にて、本部からの安全管理・虐待等の情報を共有・注意喚起
- ◆ 本部に巡回訪問の部門を設置し運営サポート・指導を実施
- ◆ 事故事例が発覚した際は本部に速やかに共有し調査を実施
- ◆ 子ども虐待防止 オレンジリボン運動へ参加

高い満足度を実現 (当社グループ実施の利用者アンケート)

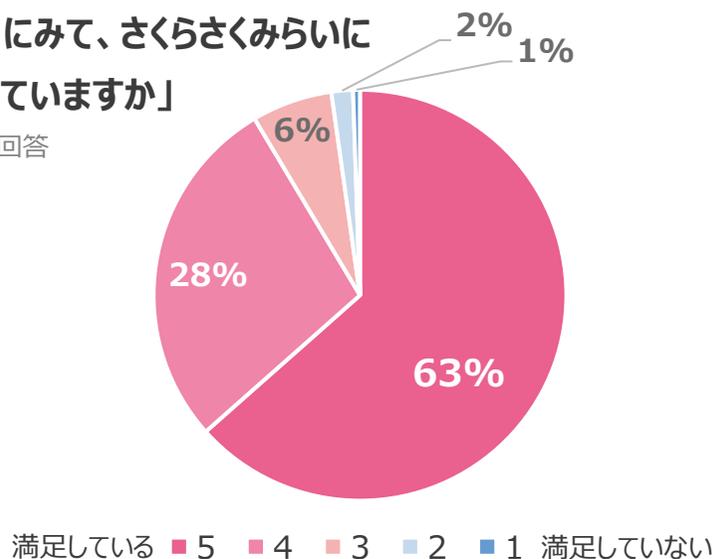
「さくらさくみらいの入園の決め手となったものを教えてください」(複数選択可)

1,663件の回答



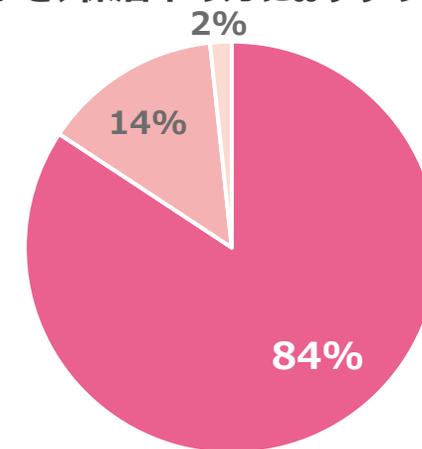
「総合的にみて、さくらさくみらいに満足していますか」

1,663件の回答



「さくらさくみらいを、保活中の方におすすめしたいですか」

1,663件の回答



■ はい ■ どちらでもない ■ いいえ

当社株価状況

24年7月期

PER

サービス業界上場企業全体の

PER平均 : 27.5の中、
(2024年5月時点)

当社 : **8.79**
(2024年6月下旬時点)

売上高	17,100百万円
営業利益	580百万円
経常利益	650百万円
当期純利益	500百万円
PER	8.79 倍
時価総額	4,467百万円
発行株式数	4,520,800 株
EPS	112.43

業績予想

6月下旬時点

- ❁ 本資料は、当社の事業及び業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の見通しについても言及しています。
- ❁ これらの将来の見通しに関する表明は、様々なリスクや不確実性が内在します。
- ❁ すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の見通しに関する情報に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。
- ❁ 当社は、将来の見通し、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の見通しと大きく異なることもありえます。
- ❁ 本資料における将来の見通しに関する情報は、2024年7月13日現在において、利用可能な情報に基づいて、当社によってなされたものであり、今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。



さくらさくPLUS
日本の伸びしろを、花ひらかせる。